

寅さん歩 その26

東京の主要道路の起点～終点

千川通り－2



平野 武宏

道路名の標識・経路案内標識や標識の数字・その形に興味を持った寅次郎、東京の主要道路を起点から終点まで道路標識を頼りに歩いて、各交差点で交差する道路を学びたいと思い、2021年10月から「不忍通り」、「白山通り」、「春日通り」、「明治通り」、「昭和通り」、「平成通り（番外編）」、「靖国通り（元 大正通り）」、「内堀通り」、「目白通り」、「目黒通り」、「本郷通り」、「世田谷通り」、「江戸通り」、「外堀通り」、「山手通り」、「環二通り」、「外苑東通り」、「外苑西通り」、「永代通り」、「中央通り」、「桜田通り」、「新大橋通り」、「日比谷通り」、「清澄通り」、「晴海通り」、「新宿通り」、「青山通り」、「玉川通り」、「尾久橋通り」、「尾竹橋通り」、「言問通り」、「墨堤通り」、「多摩堤通り」、「三ツ目通り」、「四ツ目通り」、「早稲田通り」、「浅草通り」、「六本木通り」、「池上通り」、「駒沢通り」、「海岸通り」、「清洲橋通り」、「井ノ頭通り」、「葛西橋通り」、「中野通り」、「平和橋通り」、「大久保通り」、「蔵前橋通り」、「道灌山通り」、「川の手通り」、「自由通り」、「丸八通り」、「新目白通り」、「ゆりのき橋通り」、「方南通り」、「柴又街道」、「中杉通り」と歩いてきました。

今回は「千川通り」を歩いています。千川通りは豊島区南長崎の都道420号線の名前のない交差点を起点に、練馬区上石神井の青梅街道の関屋一丁目交差点に至る延長約9kmの道です。暗渠化された千川上水の用地を活用しています。

千川上水は江戸時代に六義園、浅草寺などへの上水として造られ、昭和40年代からは農業用水として利用されました。写真右上は千川通りの道路名標識（都道439号線）です。前回は起点から豊北六丁目交差点まで歩きました。

今回は豊北六丁目交差点から終点まで歩きます。掲載の写真は人や車の密を避けた時間帯に撮影しました（一部は以前の訪問時に撮影したものもあります）。詳細を知りたい方は各道路のホームページをご覧ください。最寄駅は交通機関を利用した場合の代表駅です。

バーチャルウォークの途中経過も報告します。

[豊玉北六丁目交差点] 練馬区北六丁目

最寄駅 都営地下鉄大江戸線 練馬駅

豊玉北六丁目交差点（写真下右）で目白通り（都道 8 号線）と交差します。
左へ行くと飯田橋方面、右へ行くと谷原方面、千川通りは直進です。



[中村橋駅前交差点] 練馬区中村北三丁目

最寄駅 西武池袋線 中村橋駅

中村橋駅前交差点（写真下右）で中杉通り（都道 427 号線）と交差します。
左へ行くと阿佐ヶ谷方面、右へ行くと中村橋駅方面、千川通りは直進です。



千川通りは中村橋駅前交差点を過ぎてから中野区に入ります。



その後、富士見台一丁目でまた練馬区に入ります。道路の両側には緑が目立ちます。



[旧称八成橋第二交差点] 杉並区井草三丁目

最寄駅 西武新宿線 井萩駅

旧称八成橋第二交差点（写真下右）の手前で杉並区に入ります。旧称八成橋第二交差点で環八通り（都道 311 号線）と交差します。左へ行くと荻窪方面、右へ行くと谷原方面です。かつては八成橋があったようです。



井草四丁目交差点手前に水道局井草貯水槽（写真左）がありました。

[井草四丁目交差点] 杉並区井草四丁目

最寄駅 西武新宿線 上井草駅

井草四丁目交差点（写真下右）で新青梅街道（都道 245 号線）と交差します。左へ行くと目白方面。右へ行くと西東京方面です。千川通りは終点の青梅街道方面に向かいます。



直進すると左側には農地が広がっていますが（写真下左）、ここは杉並区です。千川通りが練馬区と杉並区の区境になります。さらに進むと左側に西武新宿線が通っています（写真下右）。最寄り駅は上井草駅です。



突き当りを左折、西武新宿線の踏切を渡り（写真下左）、右折して（写真下右）進みます。



左側に早大グラウンドがありました。練馬区側の上石神井三丁目には早稲田学院（早稲田大高等学院・中学部）があるのでこのグラウンドと推定しました。

[立野橋交差点] 練馬区上石神井一丁目

最寄駅 西武新宿線 上石神井駅

交差点手前左に水道局の塔がありました。説明板はありませんでした。立野橋交差点（写真上右）は右へ行くと上石神井駅方面、左へ行くと青梅街道方面です。



交差点右端に上石神井立野の庚申塔（写真左）がありました。説明板に1704年（宝永元年）上石神井立野村の人々により建てられとあります。かつて多く見られた旧道の辻に見られる庚申塔にお姿を残しています。

[関屋一丁目交差点] 練馬区上石神井一丁目

最寄駅 バスで上石神井駅

青梅街道の関屋一丁目交差点（写真下右）が千川通りの終点です。左へ行くと高円寺方面、右へ行くと西東京方面です。



これにて千川通りを起点から終点まで歩きました。練馬駅までは桜並木を楽しみ、以後は練馬区・杉並区の田園風景と水関連の施設を見ました。

[バーチャルウォーク途中経過]

八柳修之さん作成の多くのバーチャルウォークコースがFWAホームページ「YR・四季の道」に掲載されています。寅次郎、バーチャルウォーク「東海道五十三次」京上りに挑戦しています。東海道五十三次はバーチャルウォーク「弥次さん 喜多さんと伊勢参り」で2021年（令和3年）9月から歩きました。寅さん歩379 令和3年10月から掲載済です。

今回は宿場などを紹介しながらゆっくりと歩きます。

2023年8月8日、お江戸日本橋（現在の中央区日本橋一丁目）を出発、2023年11月21日二川（ふたがわ）宿（現在の愛知県豊橋市）（江戸日本橋から282km）に到着しました。各宿場は歌川広重の浮世絵（無料画像）や宿場などでの話題を紹介します。各宿場については八柳さんからいただいた「完全東海道五十三次ガイド（東海道ネットワークの会）」を参考にしています。



写真左は「二川猿ヶ馬場」です。白須賀の西の猿ヶ馬場は松の群生する丘陵です。

「名物かしば餅」と書かれた看板がかかる茶屋があります。三味線を背負って3人の女芸人が茶屋に向かって歩いています。

二川宿の名物うまいものは「赤味噌」（写真下左）と「本陣饅頭」（写真下右）です。東駒屋は江戸時代から味噌、醤油を醸造しています。現在でも、この地方名産の赤味噌を製造販売しています。本陣饅頭は中原屋のこし餡を包んだ素朴で香ばしいおまんじゅうです。外皮に本陣の焼き印があるとのことですが、その写真は見つかりませんでした。



毎日の運動不足対策や事情で例会に参加できない場合はマイお散歩コースを見つけ、その歩いた距離を累計して楽しむバーチャルウォークを始めませんか。FWAのHP「YR・四季の道」の「バーチャルウォークコーナー」は各コースが紹介され、各コースシートが印刷できます。今回の東海道五十三次のコースシートは1マス2kmを塗りつぶして進みます。マイペースの散歩で塗りつぶしていく楽しみがあります。また「ひとり歩きコーナー」には地図付きの各コースがありますので選んで印刷してご利用ください。

平野 寅次郎 拝